



桃五だより



No.604

(10月号)

2021.9.30

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

一つのことをとことんやった後に・・・

主幹教諭 山田 章浩

<東京2020閉幕>

8月から始まった東京オリンピックパラリンピックが、9月5日に閉幕しました。コロナ禍における開催については賛否両論ありましたが、そのことは別に、各種目に出場したアスリートの皆さんは、大会当日までに積み上げてきた力の限りを尽くす姿を見せてくれました。(本校の6年生が栽培したあさがおの鉢植えが、有明会場に展示されました。ある日本選手は、「自国開催のあさがおのおもてなしに励まされた。」と談話していました。)

試合当日の、一瞬の、わずかな時間のために、何度も何度も練習を繰り返し、何年もかけて力を付けてきた選手たちの思いの全てに共感することはできません。私たちの想像が及ばない努力の日々を送ってきたのだと思います。その姿は、私たちに感動を与えてくれました。メダルを獲得できなくても、どの国の選手であっても、その姿は立派であり、素晴らしかったです。

<一つのことをとことんやる>

このアスリートたちは、それぞれが専門とする競技だけを追求してきたのだと思います。金メダルを獲得した、野球の「侍ジャパン」のメンバー達もそうです。プロ野球の選手が引退する時に「今まで、野球しかやってこなかったの、これからいろいろなことを勉強したいです。」と、コメントするのをよく耳にします。「野球しかやってこなかった。」という言い方は、とてもネガティブな印象を与えます。「だから、世間を知らない。」という印象です。

確かにそのような見方もできます。でも、一方で「一つのことをとことんやった。」という見方ができると思うのです。とことん納得するまで、最後まで突き詰めて物事をやり遂げるという経験をするには、並大抵のことではありません。広く、多くのことを経験することはとても大切ですが、一つのことにとこだわり、努力しやり遂げることは、決してネガティブなことではないと思うのです。

そこには、やり遂げた人の「心の強さ」を感じずにはられません。

<スポーツフェスティバルに向けて>

9日(土)には、いよいよスポーツフェスティバルが開催されます。今年度も、コロナ禍での開催となり、保護者の皆様には、参観人数の制限や参観方法等について、数々のご不便をおかけし申し訳ありません。

子供たちは、オリンピックパラリンピックのアスリートのような長い年月ではありませんが、本番当日に向けて、夏の暑さの余韻が残る9月の中旬から、大粒の汗を流しながら一生懸命に表現運動などの練習に励んできました。スポーツフェスティバルの後には、きっと一つのことをやり遂げた素敵な笑顔が見られることと、子供たち一人一人に「心の強さ」が芽生えると信じています。私たち教職員一同も、子供たち一人一人が主役となり、輝けるように、最後まで全力でサポートしていきます。

当日は、本番まで「一つのことをとことんやった」子供たちの姿を是非ご覧ください。

10月の生活指導目標

安全に生活をしよう

2学期が始まり約一か月がたち、疲れが出てくる時期です。このような時には思わぬ事故が起こりがちになります。オープンスペースや階段、教室での過ごし方、登下校中のルールなどを、もう一度確認し、大きなけがや事故などの無いよう声掛けをしていきたいです。